

World Ocean Plastic Planning Center

2026年6月7日 OPEN!

海と大地のフィールドミュージアム！

世界海洋プラスチック プランニングセンター

世界の海洋プラスチック問題の解決を目指し
考え行動する（プランニングする）拠点。
「プラプラ」の愛称で呼んでください。

玄界灘を舞台に回収から再生、体験などを通して、海洋プラスチックの問題について学ぶことができるセンターが2026年6月7日に誕生。波戸岬海浜公園内に建つ築約50年の既存休憩所を活用し、カフェ・ショップとして再生しました。隣接して佐賀県産木材を用いた木造の展示ギャラリー・再生ラボを整備し、既存の休憩所と高さを揃えながら、一体的に利用できるシンボリックな建築物となっています。建物の前には半屋外スペースを設け、海洋プラスチックを再生したアップサイクル建材による屋根が印象的な外観を形成しています。既存休憩所の改修も含め、佐賀県内の公共施設として初めてのZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）建築を達成しました。ここに人が集い、体験し、考え、未来の暮らしのヒントを知る。一人ひとりが“できること”からはじめましょう。



①



②

①外観：玄界灘と島々を見渡す海浜公園内に建つセンター。
②カフェ：海洋プラスチックを再生させた空間です。
③：半屋内のアプローチ。海洋プラスチックを再生したパネルの屋根が特徴的。



地域の取組紹介

有明海と玄界灘の2つの海に面し、山や川が暮らしの身近にある佐賀。「森川海はひとつ」という思いを人が未来へつなぐ」という理念のもと、「森川海人っプロジェクト」がスタート。環境を体験し学ぶ機会や森川海で活動する個人・団体のネットワークをつくり、これまでビーチクリーンや海洋ごみ回収箱の設置など地域の人々と共に取り組んでいます。

環境教育

森川海はひとつ！

海洋環境国際シンポジウム
[みんなの海 国際会議]

ビーチ
クリーンアップ



ビーチクリーンを行い、海岸の海ごみを回収します。



海ごみを分別し、硬質プラスチックを機械で粉砕して原料化します。



原料化したプラスチックをプロダクトや燃料ペレットに再生させます。



海洋環境や海洋プラスチック問題に関して学ぶことができます。

海洋プラスチック回収再生

地域の人々や学校、企業と連携し、海岸や拾い箱から海洋プラスチックを回収。分別・原料化を経て、民間企業の再生技術でアップサイクルし、新たな価値を創造します。



学び・体験・研究

海洋プラスチックが資源へと再生される工程を見学でき、展示や体験を通じて学ぶことができます。大学や企業との連携により研究成果も発信し、最新の知見に触れられる拠点です。



地域とつながるCAFE

海洋プラスチックを活かした商品や、地元の素材を使った飲食を提供。地域の人と来訪者が集い、カフェ・交流スペースです。



国際発信

唐津玄海エリアの海洋プラスチック問題や佐賀県の取組を世界に発信。国内外の関係者とつながりを深め、持続可能な未来づくりへの協力を促します。



佐賀の岬から 世界の海を 取り戻そう。

安価で耐久性に優れ、現代社会になくてはならない素材となっているプラスチック。それらは私たちの生活を支えています、適正に処理されないことで「海洋プラスチック」という、新たな問題を生みました。佐賀県は海洋漂着物が大量に流れ着く九州北部の中心に位置します。大陸との玄関口であったこの地で、海洋プラスチックの問題を抱える多くの国や地域とネットワークを構築し、新たな潮流を生み出します。自然と人とのつながりを見つめ直す「森川海人」プロジェクトを進めてきた佐賀県だからこそできる取り組みです。佐賀から、SDGsの実現に寄与し、未来の海へつながるビジョンを描いていきます。



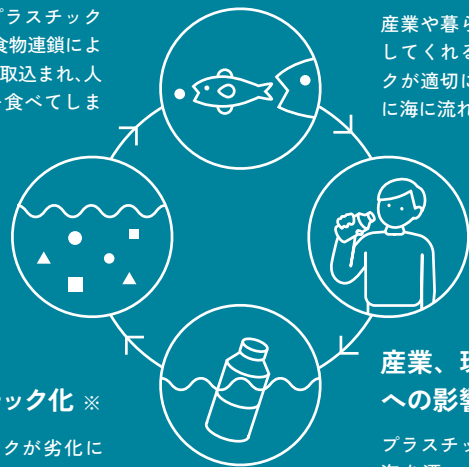
海流と九州北部の状況



海洋プラスチック問題とは

生態系への影響

小魚やプランクトンがマイクロプラスチックを摂取し、食物連鎖により生態系に取込まれ、人がその魚を食べてしまいます。



マイクロプラスチック化 ※

プラスチックが劣化によって小さくなり、分解されずに何百年も自然界に存在し続けます。

※5mm以下の微細なプラスチック

プラスチックのある暮らし

産業や暮らしを便利にしてくれるプラスチックが適切に処理されずに海に流れ出ます。

産業、環境への影響

プラスチックが何年もの間を漂い、鳥や海亀が食べたり、漁業、観光、沿岸域住環境へ影響を及ぼします。

2026年6月7日 OPEN！

佐賀から世界へ！ 世界海洋プラスチックプランニングセンター プロジェクトの寄附募集

佐賀県では、「人を大切に、世界へ誇れる佐賀づくり」のため推進している様々なプロジェクトの中から、寄附金（ふるさと納税・企業版ふるさと納税等）の使い道をお選びいただける『プロジェクト応援寄附』を設けています。



[寄附はこちら]



[センター概要]



〒840-8570 佐賀県佐賀市城内1-1-59

佐賀県 政策部 TEL 0952-25-7060 MAIL kikakuteam@pref.saga.lg.jp

佐賀県 県民環境部 脱炭素社会推進課 TEL 0952-25-7079 MAIL datsutansosuishin@pref.saga.lg.jp

2025年6月7日第4版 このリーフレットは再生紙に印刷されています。



World Ocean Plastic Planning Center

世界海洋プラスチックプランニングセンター 愛称:プラプラ

2026.6.7 OPEN